



けいせん



2011.5.31

息子は3歳7ヶ月。これまでに彼が成長しているなあと特に感じるターニングポイントが2回ありました。それは、3歳の言延生日を迎える時と、以上見クラス(年少組)にあがる時。大きい組のお兄さんお姉さんへの憧れが大きく、「なんでもできてすごい!」という尊敬と、「自分もはやく大きくなりたい!」という期待でいっぱい。3歳になると頃から「お兄ちゃんやけん自分でできるもん」と何でも自分でやれたがり、どうんす!という服をお風呂で洗ったり、1本をくねらせながら服を脱いだり...とやってみて、できるととてもうれしそうな木葉子でした。

そしてある日、「パンツで寝る!」と宣言。その時、「すごいね、大きくなだね、もうパンツで寝られそうと思ってんだね」と言った私の本じはという...。彼が自分で決意してこれとうれしく感じると同時に、オネシをしたら小さい朝の仕事をひとつ増えるという私の都合。でも、この機会を逃がしてはいけないと思って挑戦してみると大成功!! 「ほーらね! 言ったでしょ。大丈夫!」と言わんばかりの満足そうな朝の表情が印象的でした。

「信じる」(今年度の主題)のこと...と改めて思います。

子どもが決めたことを信じて見守ること。あなたを信じるよ、そしていつでも手伝う準備ができていますよ、という姿勢。その子の時(成長・決断etc)を信じて待つこと... 目には見えない子どもの思いや心や成長に気づき、信じることが大切だとはわかっていても、毎日の忙しい生活の中ではそれがなかなか難しいもの。でもちねとひと呼吸してわが子の今の姿を見つめることができれば、今のありのままわが子を受けとめることができれば、その先にあるその子らしい成長を信じるができるのかもかもしれませんね。

さて、息子のパンツで寝る! は今もつづいていってねとオネシなし!! でも「ごうごう〜」(保育園行くん〜) (最近の朝は大泣き...)と甘ん坊全開!! そんなこんなで成長したり前に戻ったり、の彼をそのまま受けとめられるよう。私自身 彼も1本も無理なく元気でいなければ、と思う日々です。(いつか必ず(子であろう)オネシ玉の時を覚悟しつつ...)